

にほんご発音ラボ

「し」の音



ぎょう とくべつ
さ行は「し」だけ特別

★さ行の「さ・し・す・せ・そ」では、「し」だけ子音が異なります[sa・**ɕ**i・su・se・so]注¹。

♪[s]は“舌の先”が“上の前歯の歯茎”に近づいて、隙間から息が抜けていきます。

♪[ɕ]は舌が“もう少し奥のほう”にあります注²。

👉「さ・す・せ・そ」と同じ位置で発音すると、「すい」のように聞こえるので注意しましょう。



♪おやすみ♪

さ行の「し」がテーマの子守歌です。最初に「㊟～、静かに」と言うときの「㊟」が4回出てきます。イラストのように、人差し指を軽く唇に当てて優しく歌いましょう。



♪「㊟～」では母音の[i]を、はっきりと発音しません。息だけ出す感じ（母音の無声化）。

♪そのあと「し」がつくことばがたくさん出てきますが、今度は母音の[i]もはっきりと発音してください（例：静かな夜、白い夢、心配ない、幸せ、信じて（い）る）。

👉「㊟」のあとに母音の「あ・う・お」を続ければ、拗音の「しゃ・しゅ・しよ」になりますよ！



ようおん かる ひといき
拗音は“軽く一息で”

	あ	う	お
かきくけこ	きゃ	きゅ	きょ
がぎぐげご	ぎゃ	ぎゅ	ぎょ
さしすせそ	しゃ	しゅ	しよ
ざじずぜぞ	じゃ	じゅ	じょ
たちつてと	ちゃ	ちゅ	ちよ
だぢづでど	ぢゃ	ぢゅ	ぢょ
なにぬねの	にゃ	にゅ	にょ
はひふへほ	ひゃ	ひゅ	ひょ
ばびぶべぼ	びゃ	びゅ	びょ
ぱぴぷぺぽ	ぴゃ	ぴゅ	ぴょ
まみむめも	みゃ	みゅ	みょ
らりるれろ	りゃ	りゅ	りょ

★拗音は「い段の“かな” + や、ゆ、よ」であらわします。い段の子音の後に、母音の「あ・う・お」が続いてできる音ですが注³、長さは1モーラです。

👉い段の“かな”の母音[i]をはっきり発音すると、2モーラに聞こえてしまいます（例：しあ・しう・しお）。

全体を“軽く一息で”言いましょう。

(1) 音声を表記するときは[]を使います。

(2) [ɕ]は[ɕ]と表記されることがあります。

(3) 外来語には「え」が続く拗音もあります（例：ジェルター、ジェラート、チェック）。